

みやぎの酪農農業協同組合第74回通常総会



第74回通常総会

CONTENTS

代表理事組合長 就任挨拶……………	1	酪農経営危機に関する要請活動について……………	8
第74回通常総会の開催……………	2	飼料情勢……………	9
乳質改善共励会・入賞者が表彰される……………	3	令和5年度 生乳生産実績……………	10
購買品高位利用者が表彰される……………	4	理事会通信……………	10
みやぎの酪農農業協同組合 新役員紹介……………	5	売りたいし、買いたいし……………	11
第4回 乳質改善共励会 最優秀賞者のご紹介……………	6	編集後記……………	11
飼料等生産資材高騰にかかる 緊急特別支援対策(追加支援)について……………	8		

就任のご挨拶



みやぎの酪農農業協同組合

代表理事組合長 伊藤 一成

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびの任期満了に伴う役員改選におきまして、代表理事組合長に再び選任され、重責を担うこととなりました。改めて、責務の大きさを痛感すると共に、全力で誠実に職務を全うする所存でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大から丸3年が経過し、感染法上の取扱いが5類へ移行されましたが、未だ完全な収束とはなっておりません。加えてロシアによるウクライナ侵攻、急激な円安など農業や地域社会を取り巻く環境は厳しさを増しております。

取り分け、酪農乳業を取り巻く環境は、大きく揺れ動いており、コロナ禍で生乳需給が大幅に緩和してから3年以上、ウクライナ情勢と為替の急激な円安により生産費が急騰・高止まりしてから1年以上が過ぎ、さらに昨年8月以降、乳雄子牛、F1素牛の価格が大暴落するなど、未曾有の酪農危機に晒されております。

このようなかつて類を見ない情勢を背景に、酪農家戸数の減少率が拡大傾向にあります。この一年で全国では6.8%、都府県においては8.4%と、実に近年の1.5倍以上まで酪農の廃業が進んでおります。特に今夏は不確定要素が多いために、地域によって飲用向けの需給が一時的に逼迫する可能性も否定できない状況にあり、供給不足による市場の喪失が生じないように需給状況を関係者で共有しつつ、牛乳乳製品の安定供給に努めることが重要となります。

さらに、改正畜安法の施行から5年経過しましたが、生乳生産過剰時の需給調整に大きな意味を持つ指定生乳生産者団体の機能を弱めてしまった結果、系統農協のみで需給調整を行う限界性や需給調整コスト負担の不均衡等が顕わとなりました。酪農経営に直結する生乳需給制度の面からも見直されるべきであり、政府には検証を提起しているところでございます。

当組合は、平成13年4月の合併以来、地域社会から信頼を得ながら各種事業を通じ、組合員への最大の奉仕を実現することを社会的使命として、地域酪農の発展、組合員へのサービスの提供、地域社会への貢献など、皆さまのご理解とご支援を支えとして運営してまいりました。

経営環境は厳しい状況ですが、酪農の専門農協として持続的な経営基盤の確立・強化に努めるとともに、酪農振興と地域貢献を通して「組合員が結集できる組合員の組合」として認識していただける農業協同組合運動を展開してまいります。

最後に、「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神の下、「信ナケレバ立タズ」の反芻を絶えず行い、常に酪農家所得の向上をスローガンに、精一杯努めてまいりますので、今後とも引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

第74回通常総会の開催

去る6月26日(月)に大和町『まほろばホール』に於いて、第74回通常総会を4年ぶりに通常の形で開催いたしました。

砂金会長はあいさつの冒頭で、伊藤組合長が諸般の事情で本日欠席することを報告して、出席された組合員に対して謝意を表しました。

世界情勢は、先の見通せないウクライナ問題や気候変動や世界人口の増加などにより、エネルギーや食品などの価格が上昇して、日本経済や国民の暮らしに影響を与えています。

酪農情勢は、生産資材の価格は過去最高水準まで高騰し、さらに個体価格の暴落、生乳需給緩和が複合的に重なり、酪農生産現場はかつて類を見ない苦境に陥っています。

この厳しい情勢を背景に、昨年全国では6.8%、都府県では8.4%と酪農家の減少率が加速化しております。

今年の8月1日から飲用向け乳価10円の引上げが決定されていますが、多くの酪農家にとって生産コスト上昇分を十分に補える引上げにはならないと推察されます。一方、乳価引上げに伴う値上げは消費の減退につながり、昨年の11月の値上時よりも消費の落ち込みは顕著になる恐れがあり、脱脂粉乳が再び積み増す可能性や販売不可能乳発生の懸念が高まります。

このような環境の中、令和4年度組合独自の支援として、販売手数料の減額や資材価格高騰に対する支援として合わせて63,000千円の支援を行いました。一年間の事業活動の結果、当期剰余金48,374千円の成績をおさめることができたことを組合員の皆様に感謝し、更なる努力を誓い、なお一層のご理解とご協力をお願いして開会のあいさつといたしました。

議長には、伊具支部の井上英樹組合員が選任され、上程された第1号議案から第6号議案まですべて原案とおり承認可決されました。

総会後に開催した理事会におきまして、代表理事組合長には伊藤一成氏、代表理事会長には砂金甚太郎氏、常務理事には芳村宏氏がそれぞれ再任され、理事会後の監事会におきまして、代表監事には熊谷正幸氏が新たに就任されました。



なお、今回の総会の出席状況と賛否の結果は次のとおりです。

総会出席状況・各議案結果

総会日現在正組合員	204名
実際に出席した正組合員(役員含む)	45名
代理人	4名
書面	154名
合計	203名

	議決権数	議決権の過半数等	賛成					反対					結果
			本人	代理	書面	投票	合計	本人	代理	書面	投票	合計	
第1号議案	202	101	43	4	153		200	1	0	1		2	可決
第2号議案	202	101	43	4	153		200	1	0	1		2	可決
第3号議案	202	101	44	4	153		201	0	0	1		1	可決
第4号議案	202	101	42	4	152		198	2	0	2		4	可決
第5号議案	199	100	/	/	152	44	196	/	/	2	1	3	可決
第6号議案	199	100	41	3	151		195	1	0	3		4	可決

乳質改善共励会・入賞者が表彰される

◎第4回乳質改善共励会表彰

○最優秀賞

白石・七ヶ宿支部 佐藤 康憲 様

○優秀賞

蔵王支部 小島 一也 様
 豊里支部 斎 正志 様
 仙台支部 渡邊 勇樹 様

○優良賞

遠田支部 佐々木貞裕 様
 大崎支部 八巻 誠 様
 柴田支部 小峯 真喜 様

○努力賞

白石・七ヶ宿支部 鈴木 正高 様
 蔵王支部 阿部 賢一 様
 蔵王支部 佐藤 吉彦 様
 本吉支部 小野寺佑友 様
 伊具支部 半沢 一良 様
 大崎支部 濱田 茂 様
 栗原支部 富塚 光言 様
 豊里支部 浅野真由美 様
 大崎支部 佐々木修一 様
 遠田支部 遠藤 靖之 様
 栗原支部 小野寺 勝 様
 伊具支部 佐藤 勝彦 様



最優秀賞：白石・七ヶ宿支部 佐藤 康憲 様

白石・七ヶ宿支部 佐藤 剛 様
 豊里支部 須藤 元晴 様
 柴田支部 吉田 敬貴 様

白石・七ヶ宿支部 齋藤 和宏 様
 黒川支部 高橋 信 様
 蔵王支部 齋藤 好男 様
 加美支部 伊藤 智之 様
 蔵王支部 玉根 満晃 様
 伊具支部 小川 淳一 様
 豊里支部 伊藤 仁一 様
 登米支部 鈴木 浩行 様
 仙台支部 新田 重恭 様
 登米支部 千葉 敏幸 様
 仙台支部 佐藤 正人 様
 遠田支部 (有)岩崎牧場 様

◎購買品高位利用者表彰

白石・七ヶ宿支部 (有)ファームイチカワ 様	蔵王支部 (株)ゼルコバドリーム 様
登米支部 (株)柴田牧場 様	栗原支部 (有)小山牧場 様
蔵王支部 阿部 賢一 様	栗原支部 千田農場(株) 様
豊里支部 斎 正志 様	登米支部 (株)シュガーファーム 様
白石・七ヶ宿支部 (有)蔵王プロヴァンスファーム 様	栗原支部 熊谷牧場合同会社 様
蔵王支部 佐藤 晃 様	白石・七ヶ宿支部 阿部耕太郎 様
大崎支部 八巻 誠 様	仙台支部 佐藤 正人 様
蔵王支部 (有)七日原高原 佐豊牧場 様	仙台支部 高橋更一郎 様
白石・七ヶ宿支部 鈴木 正高 様	仙台支部 渡邊 勇樹 様
柴田支部 吉田 敬貴 様	仙台支部 庄子 孝喜 様
柴田支部 柳沼美枝子 様	登米支部 佐藤 勝雄 様
白石・七ヶ宿支部 佐藤 剛 様	柴田支部 佐藤 文昭 様
柴田支部 小笠原良一 様	白石・七ヶ宿支部 木村 近雄 様
鳴子支部 片倉 正人 様	伊具支部 佐藤 勝彦 様
蔵王支部 伊藤 昌治 様	白石・七ヶ宿支部 (株)エムエスファーム 様
大崎支部 木村 清一 様	栗原支部 砂金 篤孝 様
蔵王支部 大宮 勉 様	蔵王支部 佐藤 吉彦 様
蔵王支部 小島 桂輔 様	白石・七ヶ宿支部 齋藤 和宏 様
登米支部 武田 健一 様	加美支部 伊藤 保仁 様
栗原支部 白鳥 健 様	栗原支部 伊藤 紀彦 様
蔵王支部 山家 善明 様	鳴子支部 野村 泰仁 様
伊具支部 高山 英男 様	白石・七ヶ宿支部 佐久間英明 様
豊里支部 伊藤 仁一 様	伊具支部 小川 淳一 様
白石・七ヶ宿支部 根本 和雄 様	石巻支部 高橋 公 様
白石・七ヶ宿支部 佐藤 康憲 様	登米支部 千葉 敏幸 様
伊具支部 井上 英樹 様	蔵王支部 廣谷 淳一 様
大崎支部 濱田 茂 様	白石・七ヶ宿支部 江場 稔一 様
蔵王支部 平野 信明 様	白石・七ヶ宿支部 高橋 弘 様
名取支部 (株)布田牧場 様	豊里支部 須藤 元晴 様
栗原支部 熊谷 正幸 様	柴田支部 大山 治 様
蔵王支部 豊田 喜吉 様	伊具支部 大木 伸一 様
黒川支部 佐藤 正信 様	加美支部 堀籠 銀寿 様



代表受賞者：大崎支部 八巻 誠 様





代表理事組合長
伊藤 一成



代表理事会長
砂金 甚太郎



常務理事 芳村 宏



理事 須藤 元晴



理事 佐々木 貞裕



理事 青木 五一



理事 江場 稔一



理事 堀籠 銀寿



理事 佐藤 忠光



理事 鈴木 浩行



理事 市川 拓



代表監事 熊谷 正幸



監事 阿部 耕太郎



監事 小野寺 佑友(新)



(左から妹:美智子さん、妻:暢子さん、経営者:康憲さん)

第74回通常総会において、第4回乳質改善共励会の最優秀賞に輝いた白石・七ヶ宿支部 佐藤康憲さんをご紹介します。佐藤牧場の1年間の乳質検査における結果は以下の通りです。

項目	FAT (%)	SNF (%)	細菌数	細胞数	蛋白	乳糖	M U N
平均	4.07	8.89	0.45	11.0	3.41	4.55	12.81

【佐藤牧場のあゆみ】

七ヶ宿町長老地区でお祖父さんが5頭の乳牛を貸付で導入したことから、酪農家として佐藤牧場は始まりました。40年ほど前にお祖父さんが20頭対頭式牛舎を建てられ、以後増改築を施しながら現在は84頭対頭式牛舎として酪農に励んでいます。康憲さんは宮城県立白石高校七ヶ宿分校を卒業後、別の業種に5年ほど勤めましたが、その後就農され、現在佐藤牧場の3代目経営者として酪農に取り組んでいます。



【経営概況】

佐藤牧場は主に康憲さん夫妻と妹さんの3人で従事しており、時折お母さんも手伝いをされ、現在は経産牛50頭、未經産牛40頭を飼養しています。繁殖管理に関しては、共済の繁殖巡回を月2回依頼し、輸入精液の「総合指数上位から母牛と相性の良い種雄牛」のリストを作成し、リストの中から性判別精液を選択することで牛群の改良と後継牛の確保に力を入れております。



【自給飼料の生産】

現在、自給飼料を確保するために永年生牧草地を約20haほど管理し、堆肥の適正還元、化成肥料と土壌改良剤の適量施用等に力を入れ、良質で多収量の自給飼料の生産に取り組んでおります。また、10年ほど前から七ヶ宿・不忘地区の農家で永年生牧草の収穫を一緒に行うようになり、協力して圃場の収穫を行なうことで刈遅れによる品質の低下を防止しています。



【乳質改善への取り組み】

搾乳時の乳房炎の発生・感染を防ぐため、搾乳機器は毎月メーカーの点検を受けて部品の交換や修理を行なっています。搾乳作業については、平成25年に搾乳立会を受けて以降、前搾りや乳頭清拭、ミルカー装着のタイミング等、基本に沿った手順を意識して作業に取り組んでいます。また、自給飼料の給与方法も特徴があり、経産牛には栄養価の高い1番草のみ給与し、2番・3番草は給与しないとのこと。乳房炎の罹患率の低下と重篤化を防ぐために、組合のバルクスクリーニング事業を利用し、3ヶ月に一度バルク乳を調査し、原因となる成績の悪い牛は淘汰し、乳質の良い牛を導入するように心掛けた結果、乳房炎の発症率は激減したそうです。さらに、令和2年2月に事業でキャリアールとパイプラインを導入してから乳質も改善されたとのこと。

【最後に】

今回の取材を通して、乳質改善への取り組みが人一倍強く、今回の受賞も地道に積み上げてきた結果だと感じました。また、畜舎環境に気を付けており、自分たちや牛だけでなく畜舎もきれいに使われていることから衛生面でも妥協しない一面が見られました。最後にお忙しいところ取材を受けていただきありがとうございました。佐藤牧場の益々のご発展をお祈りいたします。



飼料等生産資材高騰にかかる 緊急特別支援対策（追加支援）について

販売課

昨年度に実施した組合独自の経営安定対策（販売手数料キログラム当たり1円減額）を今年度も下記の内容で実施いたします。

記

1. 支援対策の概要

当組合との生乳受託販売契約を通じて出荷した生乳出荷乳量を対象として、販売手数料キログラム当たり1円を減額いたします。

2. 支援対象期間

令和5年4月1日～令和5年9月30日までの6ヶ月間

3. 支援方法

(1)4月及び5月分の減額については、7月20日の乳代精算時に返還いたします。

(2)6月から9月分までは、販売手数料キログラム当たり1円を減額した金額を乳代金より控除いたします。

酪農経営危機に関する要請活動について

指導課



（左から 芳村委員 都築委員 渡邊副会長 池田副知事 佐々木副教育長 中島議員 瀬戸議員 伊藤議員）

宮城県酪農団体協議会（伊藤一成会長・みやぎの酪農協代表理事組合長）は6月9日、宮城県村井嘉浩知事（池田副知事）と宮城県教育委員会佐藤靖彦教育長（佐々木副教育長）、宮城県県議会菊地恵一議長（池田副議会議長）に対して、宮城県県議会の中島議員、瀬戸議員、伊藤議員の同席のもと、新型コロナウイルス感染症に起因して牛乳・乳製品の消費減退、ロシアのウクライナへの軍事侵攻等により原産地原材料不足を来し、生産資材全般が価格高騰したまま高止まりし、改善の兆しが見通せない状況にあることから、一刻も早い対策が講じられ、引き続き酪農経営が継続できるよう①飼料価格高騰対策について②牛乳・乳製品の消費拡大対策について③学校給食用牛乳の供給価格の期中見直しについての要請書を手渡しました。

池田副知事は、「本日、要請いただいた内容については、酪農経営が継続できるよう、動向を注視しつつ、必要な対策については、引き続きしっかりと国や関係機関と協議し要望していきます」と回答をいただきました。

なお、宮城県内の各市町村長に対して、地元理事、各支部長および支部代表がみやぎの酪農協独自に要請活動をおこなっております。

北米コンテナ情勢

米国西海岸における北米西岸港湾労組と雇用主団体の労使交渉は一部合意しましたが、賃金と年金給付に関する交渉は難航しています。6月に入り北米西岸港湾労組が各港で抗議活動を始め、ターミナルの一部を閉鎖する措置を取りました。現在は通常稼働となっていますが、再び抗議活動が発生する可能性もあるため、注視が必要です。

輸入粗飼料

①アルファルファ

(ワシントン産)

主産地コロンビアベースンでは、春先の冷涼な気候で例年より生育が2～3週間遅れましたが、5月中旬から南部で1番刈の収穫作業が開始されています。一部降雨被害があったものの、概ね順調に進捗し収穫作業を終えています。一部では成分の高い上級品も発生しています。

北部では1番刈の収穫作業が中盤に差し掛かっています。南部に比べて降雨被害が出ていますが、その後は天候も暖かく乾燥した気候で収穫作業が進行しています。

輸出向けでは中東向けに少量の買付を行った業者はいるものの、22年産の産地相場が歴史的な高値となった影響で、多くの輸出業者は繰り越し在庫を抱えており、産地相場を慎重に見極める動きが続いているため、例年よりも遅い買付進捗になる見込みです。

(カリフォルニア産)

南部インペリアルバレーでは3番刈の収穫が行われており、圃場によっては4番刈の収穫が開始されています。35℃を超える気温で上級品の発生は減少して中級品中心の発生となっています。年明け以降、米国乳価が軟化している影響や輸出向けの需要が低調なことから、産地相場は前年同時期と比べ軟化傾向にあります。

5月15日時点でのアルファルファの作付面積は前年同期比114%と増加しており、過去10年間で最高水準の作付面積となっています。

②チモシー

(US産)

主産地のワシントン州コロンビアベースン及びエレンズバーグでは、温暖な気候が続き、順調に生育しています。コロンビアベースン南部では5月下旬から1番刈の収穫作業が開始されています。一部で降雨がありましたが、被害は軽微で、収穫作業は今後本格化する見込みです。多くの輸出業者は22年産の旧穀在庫を抱えており、需要が低迷することが予想されるため、23年産の作付面積については前年比5～10%程度減少すると見込まれています。

(カナダ産)

主産地アルバータ州中部クレモナ地区では、5月に入り30℃近くの乾燥した気候が続き、早魃の状況となっており、降雨が望まれています。1番刈の収穫は7月上旬頃からの開始が予想されています。

南部のレスブリッジ地区では、6月に入り降雨があり、順調に生育しています。

③クレイングラス

主産地カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、1番刈の収穫は終盤を迎えており、圃場によっては6月上旬より2番刈の収穫が開始されています。1番刈の品質は良好で葉量が多く柔らかな上級品の発生が中心となっています。一部では雑草混じりや刈遅れが発生したものの、近隣の酪農家や肥育農家向けに出荷されています。

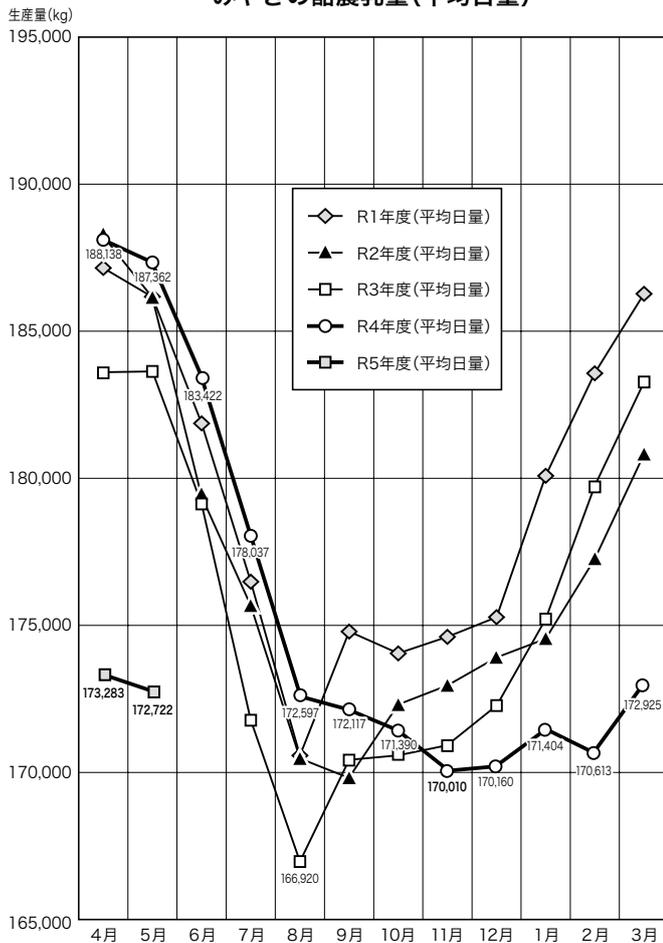
5月15日時点でのクレイングラスの作付面積は前年同時期比116%と増加しています。

④豪州産オーツヘイ

播種作業は順調に進み終盤を迎えています。東豪州や南豪州の輸出業者は22年産低級品の繰り越し在庫を多く保有していると予想されますが、近隣の生産者や各国からの輸出需要も増えていることから、作付面積は増加する見込みとなっています。6月に入り乾燥が強まる予想のため生育期の降雨不足が心配されています。

また、一部の報道で中国で輸入規制がかけられていた石炭や木材といった品目の輸出が5月以降再開されており、今後の豪中間の貿易緩和について注視が必要です。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和5年度生乳生産実績(4月～5月 標準進捗率16.71%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	21	1,448,685.2	1,477,597.7	98.04	8,540,424.5	16.96
蔵王支部	22	1,422,840.0	1,518,467.0	93.70	8,292,107.6	17.16
柴田支部	12	644,894.0	653,132.0	98.74	3,656,818.4	17.64
伊具支部	14	665,444.0	822,318.0	80.92	4,391,264.6	15.15
仙台支部	9	550,940.0	640,901.0	85.96	3,376,791.8	16.32
名取支部	3	98,165.0	124,573.0	78.80	644,325.1	15.24
黒川支部	4	87,795.0	165,171.0	53.15	770,506.3	11.39
大崎支部	17	531,699.0	585,114.0	90.87	3,166,240.1	16.79
遠田支部	12	1,663,905.0	1,637,523.0	101.61	9,708,527.1	17.14
加美支部	8	299,745.0	297,897.0	100.62	1,666,432.3	17.99
鳴子支部	7	262,780.0	317,274.0	82.82	1,706,131.9	15.40
栗原支部	26	978,335.0	1,080,434.0	90.55	5,667,710.8	17.26
登米支部	23	1,191,970.0	1,320,456.0	90.27	7,138,972.7	16.70
本吉支部	9	190,271.0	239,476.0	79.45	1,290,700.4	14.74
石巻支部	5	86,346.0	134,371.0	64.26	653,287.6	13.22
豊里支部	10	429,039.0	437,683.0	98.03	2,509,949.5	17.09
みやぎの酪農	202	10,552,853.2	11,452,387.7	92.15	63,180,190.5	16.70

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

【第3回理事会】

開催日 令和5年6月26日

- 付議事項
- 第1号議案 代表理事、常勤理事及び役付理事の選任について
 - 第2号議案 理事の順位について
 - 第3号議案 令和5年度理事の報酬の配分について
 - 第4号議案 退任理事に対する役員退職慰労金の支出について
 - 第5号議案 株式会社みやぎの運送監査役の推薦について
 - 第6号議案 令和4年度業務報告書の承認について
 - 第7号議案 令和4年度連結業務報告書の承認について
 - 第8号議案 飼料等生産資材高騰にかかる緊急特別支援対策について

No	支 部	販 売 者	出生年月日	分娩予定日	区 分
1	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	R3. 6. 25	R5. 9. 18	交雑種
2			R3. 2. 19	R5. 9. 19	交雑種
3			R3. 8. 6	R5. 9. 25	交雑種
4			R3. 8. 14	R5.10. 30	交雑種
5	栗 原 支 部	熊 谷 正 幸	R3. 9. 4	R5.10. 9	性判別
6			R3. 8. 29	R5. 9. 22	交雑種



[編集後記]

「二刀流」で日米を震撼させている大谷翔平選手。彼の一挙手一投足に興奮し、監督も対峙する選手さえも、限界を超えて高みを目指す彼に目を奪われている。野球の技術ばかりではなく人間性にも惚れこみ、今や国民の誰もが注目し、彼の活躍に勇気や感動を与えられているだろう。

因みに、大谷選手の活躍で「二刀流」という言葉を耳にしなない日がないほどだが、元は剣豪の宮本武蔵が開祖の剣術だとか。

更に、搾乳作業は古代文明から存在し、18世紀には手搾り作業は女性の仕事の1つであったそうだ。牛の横側にバケツを携え、左右の手をそれぞれ使い牛の乳を搾る姿こそ、酪農業界の「二刀流」ではないだろうか。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL. (0229) 34-2311 (代表)